

## 12月14日（金）

おはようございます。

中学校では、吉田教頭先生と齋藤先生が校舎の入り口で、毎朝皆さんに挨拶をされていて、諸君らも挨拶を返していて、いい景色だなと思っています。

「挨拶に始まり挨拶に終わる」とはよく言われますが、挨拶とは自分を相手に伝えるとても大切なきっかけの言葉です。語源的には、「一挨一拶」という禅語からきています。師匠と修行者あるいは修行者同士が出会ったときに、ことばや動作で相手の悟りの深さなどを押し迫るつまり、試すという行為のことです。それぞれが、どれくらいの境地に達しているかを確かめ合うのですね。

また、「おはようございます」という言葉は、歌舞伎からきた言葉です。歌舞伎役者は、お化粧もしっかりしなくてはならないのでだれよりも早く楽屋に入っていたのだそうです。それで裏方の人が、自分たちよりも早く来て準備をしている役者さんに「おはようございます。ご苦労さんでございます」と言ってねぎらったときの言葉だと、調べてわかりました。いずれにしても、挨拶をきっちりするという事は、とても大切なことでもあります。

以前も話したことがあります。現在の岸田内閣の防衛費の増税関連のことで、批判をした経済安全保障担当の内閣府特命大臣の高市早苗さんが、松下幸之助が作った松下政経塾の面接試験のときに、あんまり上手に答えられなかったのに、落ちたと思っていたが実際は合格した。そこで、後で松下幸之助さんに「わたしはどうして受かったのですか」と聞いたら、入ってくるときの挨拶と、帰りの挨拶がよかったからだと言われた。だいたい帰りの挨拶はあんまりきちんとしないものだが、特にあなたは帰りの挨拶がよかったので、あなたの話は覚えていないけれど、合格にしたのだという話があります。挨拶の大切さを象徴するエピソードですね。

挨拶は、自分の気持ちを伝えて相手をいい気持ちにさせます。私にも学内で諸君らが一生懸命に挨拶をしてくれますから、幸せな気持ちになります。そこで、ひとつ諸君らにお願いしたいことがあります。それは、先生方や友達に挨拶をするだけでなく、清風に入らしたお客様にも同じような挨拶をしてもらいたいということです。せっかく何かのご縁で学校に来られているのですから。その方々は、業者の方かもしれないし、他の学校関係の方かもしれませんが、清風の中に入って来られているのですから、私に挨拶をしてくれるように気持ちよい挨拶をしてもらおうと、きっと幸せな気持ちになって頂けると思うのです。

これも利他の一つの表現かなとも思います。諸君にはこういうことも心がけてくれれば、さらにいいのではないかと考えます。ぜひ実践して下さい。

今朝の話はこれで終わります。

学校長